




事業番号	06 05 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	生物多様性保全事業	部局	環境部	課・室	自然保護課		
		実施期間	S46 ~	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献						

1 現状と課題

目指す姿	◆「生物多様性ながの県戦略」中期目標 多様な主体との協働による具体的な保全活動の展開や、豊かな自然環境や生物多様性を社会全体で守る取組の推進により、県民の生活基盤である自然環境の保全を図る。	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「長野県希少野生動植物保護条例」に基づく希少種の保護回復事業計画の策定(H18～R元:15種策定、H25～R3:11件評価検証) ・保全団体が行う保護回復事業の認定(H20～R2:8種 13団体) ・生物多様性保全パートナーシップ協定の締結(H27～R元:16件 R3:1件締結見込み) 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課 題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・保全活動に取り組む者と支援企業とのマッチングの促進等により、多様な主体による生物多様性の保全に取り組む必要がある。 ・希少動植物の現状把握や、生態系のかく乱を招く要因の防除により効果的な保全対策を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性に関する保全活動のパートナーシップの拡充 保全活動団体に関する情報発信 保全活動に関心を持つ企業等の掘り起こし ・希少動植物に関する調査、保護活動 ・外来生物対策の実施

2 令和4年度事業内容

予算のポイント ・ 主な取組 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生物多様性保全に向けたパートナーシップの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性保全パートナーシップ協定の締結 保全団体などの保護活動に携わる人・団体と支援を申し出る企業のマッチング ・多様な主体との連携による保全活動 長野県内で希少種が危機的な状況に陥っている地域(ホットスポット)における保全活動 ・生物多様性に関する学びの推進 保全への理解、支援、活動参加の機運を醸成するためのポータルサイトの開設、体験学習の実施 		多様性が保たれている草原	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ ライチョウなど希少種の保護対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・長野県希少野生動植物保護条例の保護回復事業計画に基づく保護対策 ・ライチョウ保護(国連携・民間協働) 生息環境調査などの保護対策を実施 クラウドファンディング型寄付金を活用した「ライチョウ保護スクラムプロジェクト」を推進 ○ 外来生物駆除・防除の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・「長野県版外来種対策ハンドブック」を活用した地域主体の防除体制の構築 ・今後急激な増加が危惧されるアライグマの分布拡大状況のモニタリングと対策実施 		ライチョウ	
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<p>【共生社会づくり】障がいのある方への自然にふれあう機会を提供するための自然探勝会の開催(県内4か所程度)</p> <p>【学びの県づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性保全の普及啓発のためのポータルサイトの整備、体験学習の実施 ・ライチョウ保護高度技術者の育成(目標5名)。ライチョウ目撃情報投稿アプリ「ライボス」の拡充 ・外来種駆除活動を進める市町村担当者、指導者、地域リーダー向けの講習会の開催(開催場所: 県内4地域) 			

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	保護回復事業計画の策定及び評価検証数	種	24	→	24	↗	26	29
2								
3								
4								
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	
	前年度繰越	0	0	要求	26,575
当初予算	22,509	20,354	予算案	26,575	
補正予算	-2,184	0			
合計(A)	20,325	20,354	要求	26,575	
うち一般財源	11,177	8,140	予算案	9,405	
決算額(B)	14,120				
職員数(人)	7.3	7.3		7.3	

設定理由	<p>成果指標 1.保護回復事業計画の策定及び評価検証数 希少野生動植物保護条例に基づく保護対策の実施状況を把握するための指標として設定</p> <p>目標値 1.保護回復事業計画の策定及び評価検証数:計29種(第四次長野県環境基本計画:令和4年度目標値) R4年度評価検証(予定):チャマダラセセリ、ゴマシジミ、シナイモツゴ</p>
------	---

予算要求からの主な変更点	要求どおり
--------------	-------

事業名	生物多様性保全事業	部局	環境部	課・室	自然保護課
-----	-----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	生物多様性保全事業	22,509 千円	20,354 千円	要求 26,575 予算案 26,575 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)
1	生物多様性保全体制構築事業 【人と生きもの パートナーシップ推進事業】	直接	企業など様々な主体を生物多様性保全活動の支援者として呼び込むための活動 ①支援企業の掘り起こし ②内容協議・状況説明等 ③協定締結
2	ホットスポット保全対策事業 【人と生きもの パートナーシップ推進事業】	直接 補助金	希少種やホットスポットの緊急保全対策を県が実施 ①保護を啓発する看板等整備や緊急的な保護対策 ②シカ柵によらない草原環境保全の推進 寄付金をもとに市民団体等が実施する生物多様性の保全活動に対して補助金を交付【補助金交付対象:5団体】
3	生物多様性ながの魅力発信プロジェクト 【人と生きもの パートナーシップ推進事業】	委託	～知ろう！学ぼう！楽しもう！～ 長野県の生物多様性の豊かさを学び、関心を持ち、県民主体で保全に取り組む機運を醸成するための魅力を発信 ①生物多様性の素晴らしさを、親しみやすく、分かりやすく学べるポータルサイト、コンテンツを整備 ②将来の保護活動の担い手となり得る小学生をメインターゲットに保護者同伴の体験型学習会を実施
4	ライチョウ緊急保全対策事業 【希少種戦略構築事業】	委託 直接	・ライチョウの生息環境等の基礎調査 影響を及ぼす中型獣類の痕跡調査やセンサーカメラによる行動調査と、ライチョウの生息状況調査を実施 ・ライチョウサポーターズスキルアップ事業 登録済みのサポーターズのレベルアップのため、最新動向を学ぶ座学のほか現地講習会を開催
5	ライチョウ保護スクラムプロジェクト 【希少種戦略構築事業】	委託	ライチョウの保護増殖体制を強化するため、高度技術者を育成。また、目撃情報収集アプリ「ライボス」の機能を拡充。 【高度技術者養成:5名、ライボス機能の拡充:1件】
6	希少野生動植物保護対策事業 【希少種戦略構築事業】	直接	・県民等の保護活動の指標となる保護計画の評価検証 【評価検証:希少種3種(チャマダラセセリ、ゴマシジミ、シナイモツゴ)】 ・希少種のパトロール活動を行う監視員の委嘱【委嘱者数:102名】
7	外来生物対策普及事業 【外来生物戦略構築事業】	委託	「長野県版外来種対策ハンドブック」を普及し広域的な駆除活動を促進するため、駆除活動を主導的な立場で対策を進める担当者、指導者、地域リーダー向けの講習会を開催【開催場所:県内4地域】
8	外来生物防除対策事業 【外来生物戦略構築事業】	委託	収集されるアライグマ等の目撃・捕獲情報、痕跡やセンサーカメラを用いた野外調査結果、さらに捕獲個体の解剖分析による情報を統合し、各地域における定着段階の変化を把握
9	自然環境保全地域等標識板設置事業	直接	老朽化して板面が判読しにくい案内標識板等を改修し、自然環境保全地域、郷土環境保全地域の指定理由や区域、特色を広く県民に紹介 【白馬村、長野市2か所】
10	自然探勝会	委託	障がいのある方への自然にふれあう機会を提供するための自然探勝会の開催 【開催場所:県内4か所程度】